

RCホールディングスCEO・上野翼氏

「努力を結果に結び付けるマインドは
バスケットもビジネスも同じ」

上野翼——同世代の選手でその名を知らぬ者は少ないだろう。並里らの1学年下で、ジュニアオールスターでは比江島慎（宇都宮）とともにダブルエースとして日本一を達成。名門・福岡大附大濠高に進み、小中高とトップレベルを走ってきた人物だ。

ただ競技の第一線で活躍しながらも、実は幼少期から将来はバスケット以外の分野で活躍したいと考え、「将来の選択肢を広げるためにも良い大学に行きたくて、ある意味でバスケットはその手段でもありました」と言う。明治大に進学後は一般生との交流やゼミ、海外留学などで知見を広め、三菱東京UFJ（現三菱UFJ）銀行を経て、27歳の若さで理研アルマイト工業株式会社の代表取締役役に就任。現在は同社を含む6つの企業

を傘下に迎えて事業を行う企業グループ「RCホールディングス」のCEOを務めている。そして今回、GOODPASSの活動をサポートしたいとオフィシャルパートナーに名乗り出たのだ。

経営の世界にも、バスケットの経験は生かされているという。「毎日練習して努力を結果に結び付けるマインドは、バスケットもビジネスも同じかなど。むしろバスケットは努力してもうまいかかないことが多いですが、ビジネスの世界の方が比較的、努力が結果に表れやすいと思います」と上野氏。

自身のそうした経験があるからこそ、「バスケットとビジネスを切り離



して考えてしまう人が多いと思いますが、それはもったいない。セカンドキャリアを考えるときにも、バスケットの枠組みの中だけで考えるのではなく、もっと広い枠で考えれば新しい可能性が広がるかもしれません。GOODPASSで、そうしたサポートをしてほしいです」とプロジェクトの今後に期待を寄せている。

ることが自然とできました。イメージせず
にただ努力するのではなく、自分がどう
なりたいたのか、相手が何を求めているのか、
まずそう思ったことを明確にした上で準備
していけば、結果は出やすいのかなど。そ
れはバスケットもビジネスも同じだと思
います。三彦先生の教えは、当時は理解でき

なくても大人になって「こういことだっ
たのか」と気付くことがたくさんあるので、
カリスマだなと思いますね。
新岡 僕は能代工で2年生のときにマネジ
ャーに転身しました。当時は渡部に泣きな
がら相談するくらい悩みましたけど、本
当にマネジャーをやっていないければ今の自分

はいいですね。大学やアルバルク東京でも
マネジャーを経験して、裏方の気持ちで分
かるから「チームマネジメントには自信
がありますし、それは今、俳優やモデルの
現場でもよく生きています。人が複数人
で何か同じものを作る、同じものを指す
という部分では、バスケットも同じでした
から。」

あとは昔から大事にしてきたことの二つ
が、自分がかっこいいと思えるものの幅です。
小学生の頃から、能代工のような、真面目
で強くて統率の取れたかっこ良さにも憧れ
てきましたが、並行してNBAなどから影
響を受けて、ヒップホップとかファッション
とか、そういうストリートカルチャーの
かっこ良さも大好きだったんです。どちら
が良い、悪いではなくて、どちらのかっこ
良さも並行して追い掛けてきた。そういう
自分の中にあるかっこ良さを基盤は、今で
も何かを作るときに気にするところでは
ない。その点、成はバスケットに真摯に向き
合う真面目なかっこ良さと、ストリートカ
ルチャーのかっこ良さ、どちらも兼ね備え
る稀有な存在なんだ。今後の活動の中でも、
そういう成のかっこ良さを最大限に引き出
していきたいです。

渡部 両方のかっこ良さを求めていくって
難しいかもしれないですけど、僕らと上
野会長も含めた4人は、みんなタイプがバ
ラバラなので助け合えるし、良い意味でス
トッパーになれるんです。誰かが暴走しよ
うとしたら誰かが冷静に俯瞰して止める
し、逆に冷静になり過ぎていたら熱くプロ
ジェクトを進めていける人もいる。
並里 すごく良いフォーメーションが組め
ていますね。僕1人じゃ何もできないです
けど、彼らにすく助けられています。
——セカンドキャリアを豊かにしていく
ために、大切なことは何だと思えますか？
渡部 自分にはバスケットしかないと思っ

ている選手がいるとしたらそれは違っ
て、誰も潜在能力があると思っんです。そ
れなのに、バスケットを引退したと同時に
自分を磨くことを辞めてしまったら、もっ
たいない。キャッチコピーに言うなら、
今の自分に「できること」ではなく、未来
の自分に「必要なこと」に目を向けるべき
かなど。自分で「こうなりたい」とイメ
ジした未来に対して、何が必要なのか考え
て身に付けるために努力するスキルは、バ
スケットを頑張る選手たちの誰もが持つて
いるもの。たぶん、そういうことがセカン
ドキャリアでは大切なことと考えています。

新岡 僕もそれはすく思います。そもそ
も僕がアルバルクを辞めたのも、目標や未
来の自分が描けなかったことが大きくて。
生活も保障されて恵まれた環境でしたし、
仕事自体のやりがいもありましたが、「こ
のままでもいいのか」「何を目指すべき
か」という自問自答はすくついていますし
た。東京オリンピックに向けて日本代表の
マネジャーを目指すとか、いろいろ考えた
のですが、今自分がしたいことは違う世界
に飛び込んで苦勞することだな。貧乏生
活になっても、厳しい環境を知って苦勞し
て、そこから上がっていくような経験を
作りたかったんです。MC業やモデル、俳
優など、辞めてからいろいろチャレンジし
てきて、あのときの選択は間違っていないか
つたと思います。

並里 彼らからそういう話をよく聞くので
すが、結局バスケットではない別のことに
挑戦するって、そこでバツサリ断ち切れ
るわけではなく、あくまで「延長」なんだ
なと感じます。今まで積み重ねてきたもの
がなくなるわけではない。だから現役中か
らいろいろなことに挑戦するのはアリだと
思うし、自分が先頭を切ってやっていく
らと思っています。
——では最後に、今後の展望について教

えてください。
渡部 直近は、英会話のカリキュラムを準備
中ですね。外国人の先生と日本語なしに
会話をしながら、分からない部分をチャット
などでも教えてもらえるオンライン講座
です。その際の価格設定について、やるう
としてるのが「ハートマネー」方式。レ
ッスンを受講する人たちが自分で値段を設定
するというやり方です。なぜそれを採用
しようとしているのかといえは、やっぱり
シングルマザーだったり、やむを得ず働け
なかつたり、親御さんにもいろいろな事情
がありますよね。でも、経済的に厳しいか
ら子どもがやりたいことをやれないとか、
親の収入によって教育格差が生まれるの
は、あつてはいけないことだな。それで、
今回の英会話はその人が払える分だけ払え
ば、基本的に全てのコンテンツを受講でき
るようにしたいと思っています。

並里 僕自身も沖縄で育ってきて、いろ
いろな子どもたちを見てきました。僕の場合
は、たまたま親が頑張つて働いて、バツシ
ユのお金やミニバスの月謝を払ってくれた
ので今がありますが、そうではない家庭も
たくさんある。ただ、そういう子どもたち
も、何かきっかけがあれば未来は変わると
思っんです。だから家庭の事情で月500
円しか払えないのなら、5000円で全然い
い。そういうサービスを提供したいです。
渡部 そうした仕組みを実現して、子ども
たちやセカンドキャリアに悩む選手たちの
未来を作っていくためには、僕たちが多く
の方々を巻き込んでいく必要がある。今回
RCホールディングスさんに記念すべき一
社目の協賛社になっていただきましたが、
これからも僕たちの考えに賛同してくださ
る企業さんを探していきます。そして今後
の展望としては、こうした活動をバスケット
以外の分野にも広げていきたいです。